

＜保護者アンケートにおける学校への要望とその回答＞

学校へのたくさんの励ましや要望などお寄せいただきありがとうございました。要望や質問などにつきまして、アンケートでお名前を記入していただいた方には、直接ご連絡をし、個別に対応させていただきました。ここでは、全体的にお知らせした方がよい内容（無記名の内容を含む）について、回答させていただきます。

Q1 授業参観が2ヶ月に1回とは多いのでは？無理せず都合がつかれる時などでけっこうと言われますが、教室に出欠表がおいてあるので誰がきたのかわかります。また、行かないと子供が「〇〇さんの家は来られてたよ」とか聞くと、行かないわけにはいきません。仕事も途中で抜け出していくと会社を辞めた方がいいたい事言われます。（授業参観の回数については、他にもご意見を頂きました）

自由に参観できる日が月に何日かあればいいなあと思います。（1～2時間でも）

A1 授業参観の件については昨年もご意見を頂きました。

いつもお仕事でお忙しい中に都合をつけてご参観いただき、ありがとうございます。嬉野小学校では、年間を通して授業参観や運動会などの学校行事・学級懇談等の計画を立て、保護者の皆様にいろいろな学習などの場面の子どもの様子を見ていただく機会を設定しています。だいたい月に1度の割合であり、本年度は、4、6、7、9、11、12、1、2の各月に、曜日を変えながら実施いたしました。この回数は、他の学校と比べて多いわけではありません。子どもさんの学校での様子を見るいい機会ととらえていただき、各家庭のご都合に合わせてご参観いただきますようお願いいたします。どうしても出席できない場合もあるかと思いますが、子どもさんの思いも受け止めつつも、出席できないことを諭してください。出席の取り方や自由な参観日の設定については、検討をしていきたいと思っています。

Q2 授業で理解できていないところを時間外に見てもらいたい日があればと思います。わかっている子は別に授業が進んでいってもいいですが、どこかでわからない部分があれば、その先ずっとわからないまま進んでいくので、この先不安です。

A2 ご心配をおかけしました。授業時間内に理解できないところは、休み時間や昼休みなどに補充指導を行ってきましたが、その時間の確保に苦慮しているところです。定期的に時間を設定することもなかなかできませんが、1つの方法として、金曜日の朝の「算数タイム」の時間に、別教室で少人数での補充学習を行っておりますので、希望されるようでしたら、担任までお知らせください。



Q3 TTの配置のシステムがとられていますが、それは、はた目からみて問題がある子が対象であり、うちの子ども数学などととても気になっているので見て欲しい。数学の文章問題や図形の体積の求め方など難しい内容はとても出来ません。

A3 今年のTTの在り方は、学年や学級で大きく違ってきます。まずは、授業が成立し、各学年の学習内容を授業時間内に学習することが大切です。しかし、授業時間内に手助けを求めている子ども達に、十分に関わることができるように、さらに工夫をして行く必要があると思っています。どの学級でも本来のTTの活用ができるように努めていきたいと思っています。

Q4 「生活点検あいうえお」が、マンネリ化してきている気がします。書かれている項目を毎日見ることで「気をつけよう」という意識づけになるのは良いことだと思いますが、その評価については何となくあまり意味をなしていない気がします。子供は毎日同じように○をつけています。時には「違うんじゃない？」と指摘するのですが… 「あいうえお」をすることで生活態度や学習への取り組みがどれくらい変わったかな？と疑問です。

A4 毎日の点検や言葉かけありがとうございます。今年は、毎日書くことで、生活でがんばることを意識して欲しいというねらいで1年を通して取り組んできました。マンネリ化の傾向がみられることもあるかと思いますが、担任からも声かけをしながら、生活をよりよくしていこうという意識を子どもたちに持ち続けさせたいと考えています。これからも、子どもさんによりよい生活習慣を身につけさせるために、ご家庭でもお声かけをよろしく願います。今後は、学年に応じて強化月間なども設けて、意識付けの工夫をしていきたいと思っています。

Q5 時々「いじめ」の事を聞いたりします。

お友だちの～ちゃんが、～ちゃん達から「ムシ」「言葉の暴力」を…。学校側は（先生は）わかっているのか心配になります。自分の子供がされていなくても気になります。目に見えて「いじめ」はないと思います。でも何か対応はありませんか？

A5 学校ではいじめに限らず、子ども達の把握のためにアンテナを高くし、様子を見ています。

本校では、校長をはじめ職員全員が、朝のあいさつから子ども達ひとりひとりの顔色や声、様子等に目を配っています。何か気付きがあれば、各担任に知らせ対応するようにしています。また、朝の健康観察では、担任がひとりひとりの顔を確認してその日の様子をチェックしています。休み時間の過ごし方や給食時間の食べる時も同様です。いろいろな場面で、子ども達の様子を把握し、声をかけ、必要な時は個別に話を聞き対応するようにしています。

何か悩みがあっても、うまく伝えられない場合はストレスがたまったり、イライラして家族や友達にうまくあたったりすることもあるかもしれません。そこで、今年も「心のアンケート」を実施し、子ども達の口ではいえない悩みを書いてもらいました。担任がその内容について、詳しく、心を傾けて聴く「教育相談週間」も設けて、1対1で向き合う時間を作りました。その相談をもとに、問題があった場合は個々に対応をしています。必要があれば、スクールカウンセラーの先生や心の相談員の先生にも協力していただいています。

これからも、「誰もが認められる場」がある学校・家庭を目指して職員一同共通理解のもと一致団結して協力して取り組んでいきます。子どもさんのことで、気になることがありましたら、担任・学校までご相談ください。



Q6 ちょっと知っておいていただきたいくて…。最近、早朝（特に土日）から同級生の子供さんから Tel がかったり、一方的に家にあそびに来たりなど、親子の時間をとることも。（時折ハラハラドキドキ…。）お友だちとの交流はとっても大切とは思いますが、早朝の電話はやめてほしいな～と思いました。うちの子供には相手のことを考えてかけたりしようねと話しています。

A6 近年、電話をしてから遊びに行くという子ども達が増えていることはよく耳にすることです。土日、基本的には夏休みや冬休み、春休みの生活心得と同じように10時までは自宅で過ごす、食事は自宅で摂る、といったことを学校で指導しているところです。連絡（電話）をする時間帯や実際に遊びに行く時間帯についても、学校で指導はしていきたいと思いますが、各家庭でもご指導をお願いしたいと思います。家庭の予定等がある時に、電話がかかってきたり遊びに来たりといったことがありましたら、その旨をきっぱり話してください。

Q7 あいさつは良くできていると聞きますが、あまりできていないと思います。部活をしている子供はあいさつから始まるはずが、顔を合わせても無視やにらまれたりすることもあり、こちらもあいさつがしづらい時があります。

A7 「あいさつ」については、できているという子どもの意識とできていないという大人の意識のズレが大きく、子どもたちの意識を高めていかなければならないと感じている大人が多いようです。

学校では、「あいさつ」については通年目標に掲げて、根気強く指導に取り組んでいます。また、折りをみて、子ども達の実態に合わせて丁寧に指導しているところではありますが、保護者や地域の方、社会体育の指導者の方々にも協力をいただきながら根気強く指導していく必要があると思います。

多くの子ども達が社会体育の組織に属し、その指導者の方々の言われることはよく聞いています。社会体育の指導者の方には、協力をお願いしているところです。保護者の方々からも、お気づきの点は指導者の方にも相談されてください。

今後とも、子ども達への積極的なあいさつ・声かけをお願いいたします。